

べっぴん 市議会だより

2017.11.1

No.136

市民と議会との対話集会(議会出前講座)



明豊中学校(担当:広報広聴委員会)



中部中学校(担当:総務企画消防委員会)



青山中学校(担当:観光建設水道委員会)



鶴見台中学校(担当:厚生環境教育委員会)

CONTENTS

- P 2 議長就任挨拶・主な議案の概要
- P 3 議決結果
- P 4 議案質疑(海浜砂湯、福祉避難所)
- P 5 常任委員会審査・由布市に予定されている「(仮称)ボートレースチケットショップ由布」設置に反対する決議
- P 6 決算認定審査に伴う意見書
- P 7~11 一般質問(15名が市政を問う)
- P12 市民と議会との対話集会(議会出前講座)、編集後記

就任あいさつ

議長 黒木 愛一郎



議長就任にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

去る9月の定例市議会
で議員各位の温かい推挙
によりまして、第53代別府
市議会議長の重任を与え
ていただき、誠に身に余る
光栄でございますし、同時
にその責任の重大さを感じ
ているところでございま
す。

さて、急速な少子化・超
高齢社会の進展により、市
民ニーズは益々多様化する
一方で、地方財政は大幅
な財源不足が生じ、地方税
財源の充実確保は喫緊の
課題であります。

そのためには、議会が独
自の研鑽、努力により議会
力を高めることが必要で

あります。

地方版総合戦略を着実に
実践しながら人口減少
に歯止めをかけるなど、若い
世代の就労・結婚・出産・
子育ての環境整備をするこ
とが、市政の発展に繋がる
ものと確信しております。

私も議員は、二元代表
制の一翼として、昨年制定
しました「議会基本条例」
に基づいた監視、調査、政
策立案を十分に発揮し、積
極的な情報公開と市民に
開かれた議会運営に努め
て参ります。

結びになりますが、市民
が主役のまちづくりを更
に推し進め、皆様には、今
後とも市議会の諸活動に
対し、格段のご理解とご協
力を賜りますようお願いい
し上げまして、就任のあ
いさつといたします。



9月定例会

平成29年第3回定例会は
9月1日から29日までの29
日間にわたり開催いたしま
した。

今定例会では、市長提出
議案22件、議員提出議案3
件、議員派遣1件の計26件
について議決を行いました。

また今年度は、9月定例
会の会期中に予算決算特
別委員会を開催し、決算認
定審査を実施しました。決
算認定審査とは、予算がど
のように使われ、いかに成
果を上げたのかを議会が
市民目線で審査し、認める
ことを言います。市当局の
予算編成より早い時期に
実施することで、決算認定
審査で出された意見を平
成30年度当初予算に反映さ
せることを目的とし、実施
しました。予算の更なる効
果的な執行を望みます。

～主な議案の概要～

● 一般会計補正予算(第2号) ※表中の金額は、1万円未満の額を切り捨てて表示しています。

障害者福祉事務に要する経費	2392万円
法の改正に伴うシステム改修と福祉避難所用の備蓄物資の購入を行います。	
市営温泉に要する経費	708万円
海浜砂湯について事業拡張などの可能性を検討するため、サウンディング調査(民間事業者等に対する意向調査)を行います。また田の湯温泉の借地部分の土地を購入します。	
住宅等耐震診断・耐震改修等に要する経費	640万円
申請件数の増加に伴い、木造住宅の耐震改修補助金を追加します。	

● 一般会計補正予算(第3号) ※表中の金額は、1万円未満の額を切り捨てて表示しています。

衆議院議員選挙執行に要する経費	4253万円
第48回衆議院議員総選挙を執行します。	

第3回定例会における議案の審議結果など

議案等番号	件名	議決結果	議案等番号	件名	議決結果	
議第63号	平成29年度別府市一般会計補正予算(第2号)	原案可決 (全会一致)	議第83号	平成28年度別府市水道事業会計決算の認定について	認定 (全会一致)	
議第64号	平成29年度別府市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)		議第84号	別府市教育委員会委員の任命につき議会の同意を求めることについて (高橋 護)	同意 (全会一致)	
議第65号	平成29年度別府市競輪事業特別会計補正予算(第1号)		議第85号	別府市教育委員会委員の任命につき議会の同意を求めることについて (福島 知克)		
議第66号	平成29年度別府市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)		議第86号	別府市固定資産評価審査委員会委員の選任につき議会の同意を求めることについて (高橋 靖)		
議第67号	平成29年度別府市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)		議第87号	別府市固定資産評価審査委員会委員の選任につき議会の同意を求めることについて (菅 雅幸)		
議第68号	平成29年度別府市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)		議第88号	人権擁護委員の推薦につき議会の意見を求めることについて (高尾加代子)		
議第69号	別府市男女共同参画センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について		議第89号	人権擁護委員の推薦につき議会の意見を求めることについて (安達美和子)		
議第70号	別府市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する条例の一部改正について		議第90号	人権擁護委員の推薦につき議会の意見を求めることについて (伊藤 貞之)		
議第71号	公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正について		議第91号	別府市職員懲戒審査委員会委員の任命につき議会の同意を求めることについて (市原 隆生)		
議第72号	別府市美術館の設置及び管理に関する条例の一部改正について		議第92号	別府市職員懲戒審査委員会委員の任命につき議会の同意を求めることについて (松川 章三)		
議第73号	別府市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について		議第93号	別府市職員懲戒審査委員会委員の任命につき議会の同意を求めることについて (加藤 信康)		
議第74号	平成29年度別府市公共下水道処理場及びポンプ場工事委託に関する協定の締結について		議第94号	別府市職員懲戒審査委員会委員の任命につき議会の同意を求めることについて (櫻山 隆士)		
議第75号	平成28年度別府市一般会計歳入歳出決算の認定について		認定 (賛成多数)	議第95号		別府市職員懲戒審査委員会委員の任命につき議会の同意を求めることについて (悴田 浩治)
議第76号	平成28年度別府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について		原案可決 (全会一致)	議第96号		平成29年度別府市一般会計補正予算(第3号)
議第77号	平成28年度別府市競輪事業特別会計歳入歳出決算の認定について	議員提出議案第7号		由布市に予定されている「(仮称)オートレースケッチョップ由布」設置に反対する決議		
議第78号	平成28年度別府市公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算の認定について	議員提出議案第8号		受動喫煙防止対策を進めるために健康増進法の改正を求める意見書		
議第79号	平成28年度別府市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	議員提出議案第9号		地方財政の充実・強化を求める意見書		
議第80号	平成28年度別府市地方卸売市場事業特別会計歳入歳出決算の認定について	報告第9号		地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく健全化判断比率について		
議第81号	平成28年度別府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定 (賛成多数)		報告第10号	地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく資金不足比率について	
議第82号	平成28年度別府市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定 (全会一致)		報告第11号	市長専決処分について	
				議員派遣	原案可決 (全会一致)	

賛否の分かれた議案

議案番号	件名	議決結果	会派・議員名																										
			自民・創生									新風べっぴん				公明党		市民クラブ		自民クラブ		日本共産党議員団							
			9人									5人				4人		3人		2人		2人							
			江藤彦彦	三ヶ尻正友	野口哲男	松川峰生	黒木愛一郎	国実久夫	萩野忠好	安部一郎	阿部一	山本一成	松川三章	野上泰生	森大輔	小野正明	堀本博行	市原隆生	荒金卓雄	穴井宏二	加藤信康	森山義治	三重忠昭	首藤正則	河野数則	平野文活	竹内善浩		
議第75号	平成28年度別府市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定(多数)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第81号	平成28年度別府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(多数)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議案賛成者は「○」、反対者は「×」、退席者は「-」、欠席者は「欠」、議長は「/」(採決に加わらないため)
法律により、採決に加われない議案は「除」

議案質疑

今定例会議案質疑は、執行部が提出した平成29年度各会計補正予算や条例などの議案に対し、9月6日に4名の議員が質疑を行いました。そのうち主な質疑内容を掲載します。

海浜砂湯について

問 施設の状況、課題は。

答 市営温泉の中で最も収益性が高い施設で指定管理料の支出はなく、指定管理者より竹瓦温泉グループとして年間1660万円の納付金を受けています。平成28年度の入浴者数は5万3531人です。課題は、休日など混雑時は入浴に対する待ち時間が長い、予約ができない、駐車場の不足、入浴者数に比べ施設が手狭などです。

問 人気の施設であり、施設拡張により更なる事業展開が期待できる。拡張に向けたサウンディング調査のメリットは。結果は公表するのか。

答 サウンディング調査は「事前の市場調査」とも言われ、事業の企画・検討の早い段階で、事業の成立の判断や市場性の有無、事業者の参加意向の把握などのために、公募により事業への参加意向調整や直接対話を行うものです。事業化に対しての民間事業者の創意工夫やノウハウを生かすことができると考えております。

調査の結果につきまして、参加の民間事業者の了解を受けた上で、別府市公式ホームページ等で公表する予定です。事業者によっては、創意工夫やノウハウの流出を拒む場合もありますので、可能な範囲で公表をしたいと考えております。

問 施設拡張のイメージは。

答 調査により民間事業者の意向調査や直接対話を行い、機能面を充実させた更なる収益が見込める施設を目指していきたいと考えております。例えば施設は現行の2〜3倍程度の規模感で、機能面では現状の課題の改善を行うとともに、砂湯や内風呂だけでなく、シャワー施設の充実や露天風呂の新設、またカフェや売店等の入浴以外の付加価値を持った施設、さらに外国人観光客が利用しやすい入浴環境の整備などを想定しております。

問 隣接する美術館跡地の活用は。

答 収益性を踏まえ、既存の施設の営業を続けながら拡張事業を展開していくことを想定しております。また旧美術館を解体し、跡地を有効利用することにより、上ヶ浜公園利用者への影響を最小限に抑えることが可能であると考えております。

福祉避難所について

問 事業の概要は。

答 災害時における市内20カ所の福祉避難所について体制強化を図るため、2カ年計画で備蓄物資等の整備を実施するものです。

問 福祉避難所とは。

答 災害時に、高齢者や障がい者、乳幼児、特に配慮が必要だと思われる妊産婦さん、難病患者などの方が滞在することができる環境の居室があり、何か相談事があればすぐに対応できる体制の整った施設のことです。

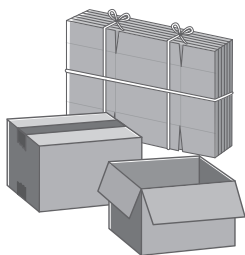
問 本市における福祉避難所の状況は。

答 県の地震津波アクションプランにおいては小学校区に1カ所の割合で指定することを目指しております。本市では小学校区が14で、境川・南立石・鶴見・

亀川・朝日・中央・山の手の7校区に協定を締結している施設があります。残りの7校区につきましては、基準に適合する施設との協定締結をできる限り行っていくよう、各施設の御協力をいただきたいと思います。

問 ダンボール製ベッドを購入するメリットは。

答 平時にはコンパクトに収納でき、運搬も容易です。また、災害時には道具を使わず簡単に組み立てが可能であります。その後、処分時においても紙のリサイクルとして資源循環が可能であると考えられます。ただ長期保管時には湿気の多いところ、火気の近くを避ける等十分な注意をいただくと考えております。



常任委員会審査

● 本会議での提案者の説明及び質疑が終了した後、さらに詳しく検討するため、常任委員会等に議案審査を付託しています。今定例会では、平成29年度補正予算や条例などの議案に対し審査を行いました。

総務企画消防委員会

付託された議案

- ・一般会計補正予算(第2号)
- ・別府市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する条例の一部改正について
ほか2件

観光建設水道委員会

付託された議案

- ・一般会計補正予算(第2号)
- ・競輪事業特別会計補正予算(第1号)
- ・平成29年度別府市公共下水道処理場及びポンプ場工事委託に関する協定の締結について
ほか1件

厚生環境教育委員会

委員長の交代

(新)松川 章三
(旧)黒木愛一郎

付託された議案

- ・一般会計補正予算(第2号)
- ・国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
- ・別府市美術館の設置及び管理に関する条例の一部改正について
ほか3件

今回、各常任委員会に付託されました議案につきましては、当局の説明を適切・妥当と認め、全員異議なく可決されました。

決議

● 別府市議会としての意思を表明するため、左記の決議案が提案され、全会一致で可決されました。

由布市に予定されている「(仮称)ボートレースチケツトショップ由布」設置に反対する決議

別府市に隣接する由布市挾間町七蔵司地区に設置予定のモーターボート競走の勝舟投票券の場外発売場「(仮称)ボートレースチケツトショップ由布」(以下「場外舟券売り場」という。)については、別府市が大分県に提出した意見書(平成29年3月10日付)において、場外舟券売り場に起因する地域社会に与える生活環境等への影響、設置のための開発行為による古賀原地区の水資源へ影響することへの懸念、本市の財政を支える競輪事業への重大な影響等、場外舟券売り場の設置に反対する明確な意思表示がなされている。

この問題について、別府市議会は平成26年第4回定例会の一般質問以来、重大な関心とともに、大きな懸念を抱いてきたところであるが、別府市が表明した「反対する明確な意思」は、別府市民に十分に理解されるべきものであることから、別府市議会としてこれを尊重すべきとの総意により設置に明確に反対することを決議する。

平成29年9月29日
大分県別府市議会

予算決算特別委員会(平成28年度決算審査)意見書

次年度の当初予算編成に反映するよう、意見書を執行部に提出しました。

1 自主財源の確保について

今後も、扶助費等の社会保障費の増加が見込まれる中で、行政サービスを維持するためには、安定した自主財源の確保が必要であり、市税等の徴収体制の一層の充実強化を図ることを求める。

2 事業並びに施策の評価について

事業の評価においては、成果が具体的に見えない状況にある。目標数値の設定や達成数値及び改善内容、所見等を具体的に示すことで、成果がより明確になるものと考

える。

また、市全体としての施策の成果をより明確にするために、部毎の重点事業を選択し、その成果を示すことを求める。また、部のマネジメント強化を図ることを求める。

加えて、成果目標に達しない事業については、その必要性等を十分に分析し、中止・廃止を含めた計画変更等の改善を行い、予算の効率的な執行を求める。

3 地方創生に対する取り組みについて

「まち」「ひと」「しごと」の創生を掲げた地方創生関連事業は、本市の経済基盤の底上げにとって必要不可欠であり、市税等の一般財源の確保にもつながる重点的かつ集中的に取り組む事業と考える。

しかし、起業家の育成・

創業支援を目的とした「稼ぐ力」、4「B」i地域産業イノベーション事業については、その具体的な方向性が示されていないものと認識される。

今後、事業の実施期間、内容及び目標数値等を明確にし、市民理解が得られるよう努めることを求める。

4 第4次行政改革推進計画について

健全な財政運営の確立において、行政改革推進計画は、途絶えることなく計画の策定と実施及び検証がなされるべきものと考える。

平成29年度に策定される第4次行政改革推進計画においては、平成30年度以降の予算編成に大きな影響を及ぼすものと考えられるため、その詳細を議会に説明することを求める。

また、事業・施策の評価

を十分に行ったうえで、「選択と集中」の意思決定により、外部要因に左右されない財政構造の構築を求める。

5 職員人件費等について

行政に対するニーズは、その多様性が増しており、市民サービスに対する業務の専門性も求められている。

自治体運営に支障を来すことのないよう人材の確保に努めることを求める。

また、外部に委託する業務と本来職員が行うべき業務の区分を明確にし、その業務を実施することが、職員の人材育成に資するものと考ええる。

加えて、職員の資質向上に資するよう研修費等の旅費の予算措置と適正な執行を行うことを求める。

6 生活習慣病予防に対する取り組みについて

「児童生徒生活習慣病予

防検診」の血液検査項目に、ピロリ菌検査が追加され、陽性反応の生徒には、公費による除菌検査が受けられることとなった。

この事業は、ピロリ菌による胃の病気(特に胃がん)を予防することができる重要な事業と考える。

生活習慣病の予防は、医療費の抑制にも寄与するとともに、健康寿命を延伸する取り組みにも効果があるものと認識される。

よって、受診率の向上に努めるとともに、生活習慣病予防の啓発を強化することを求める。

●次年度(平成30年度)の予算編成等について

本意見書を平成30年度の当初予算編成に反映することを要望する。

また、予算審議と決算審査の循環性を図るため、平成30年度当初予算審議(平成30年度決算認定審査)において、その取り組みについての報告を要望する。

一般質問

一般質問は、市の行政全般にわたり事務の執行状況や将来に対する方針などを質問するものです。9月議会では15名の議員が市当局の見解をたずねました。主な内容は次のとおりです。

●明礬地区のホテル進出による影響

市民クラブ

森山 義治 議員



問 ANAインターコンチネンタル別府リゾート&スパ(4階建て)、(株)杜の湯リゾート(4階建て)、個人住宅付きホテル(2階建て)と3軒のホテルが進出してきますが、既存の旅館や病院、また各家庭の温泉湧出量、さらに湯の花製造に関わる噴気や温度に対する影響をどのように考えているのか。

答 建設予定地周辺は大分県環境審議会温泉部会内規

の保護地域であり、既存源泉から100メートル以内は新規掘削を認めていないため、既存源泉からの給湯となり、動力装置を使用する場合は毎分50リットル以内と規定されているので温泉資源への影響は小さいと考えています。またホテル進出に対し、地元雇用の増加や地元商品の流通という良い効果に期待しています。

問 通学路の交通事故防止について、28年度小学生の交通事故17件のうち登下校中が5件と全体の30%。他の市町村と比較し7倍の間おおよそ175日交通指導員をいただいている指導員の貢献が大きいことも要因の一つであると考えます。5地区が指導員不足であり、今後指導員をやってみ

たいという状況作りのためにも報償費の増額を要望する。

答 報償費は年間8万2千円で18市町村のなかで最も高いが、改善の方策を関係機関と協議を進め、無理のない体制を作ることが先決だと考えています。

●住みたくなる別府市の施策

日本共産党議員団

竹内 善浩 議員



問 学校給食費の滞納者もいる。住みたくなる別府の子どもと子育ての経済的支援が今必要である。他市が無料化を進めている中、通院費と入院費の子ども医療費の完全無料化を別府市ではできないのか。

答 別府市独自の財源で完全無料化することは難しく、今後の財政などを考慮

しながら判断していきま

問 当事者の方から、知らないことから偏見差別が始まると聞いた。また、性別や環境に関係しない結婚式、パートナーズ婚を見てきた。一部の企業や保険会社では、扶養手当の配慮や同性者向けの保険商品が作られている時代となった。国際温泉文化都市を目指す別府市では、みんなが「まぜこぜ」で一つになる施策はあるのか。

答 共生社会を基本理念として、市民のみなさんや市職員にも、講座や研修を通して啓発を行っています。また、今年もみんなが共生参加し、自分の可能性を信じて表現する場として、「湯にばーさるファッションin別府」を開催します。

●学力向上

公明党

市原 隆生 議員



問 4月の全国学力・学習状況調査で、別府市の状況はどうだったのか。

答 中学3年生では国語・数学共に直近4年間で最も良好な結果となりましたが、小学校では国語・算数共にやや伸び悩みの状況にあると認識しています。

問 東北大学と仙台市教育委員会が提携し、7年間、7万人の子供たちを対象に調査した報告に驚かされた。スマートフォン等通信機能を介したタブレットも心配されているが、これらの機器及び機能の使い過ぎによる学力低下は深刻な状況にあり、特にメッセージ交換を行うものについては、数学で著しく学習の妨げに



なっているという結果も公表されていた。これらのことを踏まえ、安い使用料で利用しやすくなっている通信機器の「使い方」について、保護者に対し、改めて啓発を行う必要があると思うが。

答 適切な使用に向け、様々な機会を通じて啓発を進めてまいります。

●国民健康保険・図書館・美術館

日本共産党議員団

平野 文活 議員



問 来年度から国民健康保険が市町村単位から県単位で運営されることになる。その際の保険税額の試算が県から示されたが、別府市の税額はどうかだったか。

答 今回の試算は平成29年度に新制度に移行したと仮定したのですが、別府市

の加入者一人当たりの税額は、平成28年度の年額約10万1千円から約9万円に、1万1千円程度引き下げになると試算されました。最終的には来年3月に確定する予定です。

問 図書館・美術館一体的整備についての「基本構想」が発表されたが、「二体化」の意味合いが「入口もフロアも職員体制も一体」となると、図書館や美術館それぞれに市民が期待する願いが薄められるのではとの声がある。「一体的整備」とは具体的にどのようなものか。

答 「基本構想」では一体的整備のメリットと課題についてあげており、現段階では具体的な方向性については掲載されておられません。



●温泉開発

新風べっぴん

松川 章三 議員



問 別府市の12万市民は命に等しい豊富な温泉の恩恵の下で暮らしている。ところが最近、沸騰泉を利用した地熱発電が行われ、温泉の新規掘削が増えていく。温泉は別府市民の貴重な有限の資源であるが、このような開発に関し、市が持つ許認可の範囲はどこまであるのか。

答 直近2年間の新規を含めた温泉掘削の件数は合計で89件です。温泉法第3条では温泉掘削の許可権限は都道府県にあり、本市には許可の権限はありません。

問 地熱発電等温泉の利用形態が急速に変わってきており、現行の温泉法では対応できなくなっている。国・

県へ法律整備の働きかけをするべきだ。市民の意思を伝える機関「温泉開発問題協議会」を明記した条例を作り、事業者に開発内容を説明する義務を負わせるべきだ。

答 市は温泉の利活用と保護では、現状を鑑みると保護重視の立場を取っています。現在、「別府市温泉発電等対策審議会」を立ち上げたところです。その動向を見ながら内部で検討していきます。

●肝炎の重症化対策

公明党

穴井 宏二 議員



問 肝硬変・肝がんの対策には、まず肝炎ウイルスの感染予防が重要である。乳幼児の肝炎予防接種の効果を説明して頂きたい。

答 効果はほとんどのワクチンにおいて95%以上です。B型肝炎予防接種では小児の抗体の獲得率はほぼ100%です。

問 C型肝炎の予防ワクチンはないが、飲み薬でウイルスを排除するなど飛躍的に効果が上がっている。しかし、肝炎検査で陽性と判定された方の40%の方が治療に進んでいない実態が国の報告で明らかになっている。C型肝炎は治せる時代になり、陽性の方への対策が重要と考える。個別の受診勧奨に迅速に取り組んでもらいたい。

答 肝炎ウイルス検査で陽性の方のうち未勧奨となっている方に対し、今後、文書による個別受診勧奨を行ってまいります。また、肝炎のお問い合わせに対しましても検査・治療・服薬の情報、治療費の助成制度など、広報・啓発に努めてまいります。



●災害時のマンホールトイレ設置

自民・創生

萩野 忠好 議員



問 災害時の避難場所においてトイレの問題は重要である。熊本地震では下水管に直結して使うマンホールトイレが活用されたと聞いたが、別府市では過去マンホールトイレを活用したことはあるか。

答 マンホールトイレの設置実績はありません。

問 避難所でトイレの利用は多く、トイレ不足になる。不衛生であれば感染症の原因になり、食事や水分を控えればエコノミークラス症候群を引き起こす可能性もある。別府市の考えは。

答 避難所生活において、衛生的で快適なトイレ環境は重要な問題と考え、マン

ホールトイレの設置について関係課と協議していきます。

問 国土交通省が整備事業費の半額を補助するという報道もあり、検討してほしい。今回の議会で、福祉避難所に備蓄品として簡易間仕切りやダンボールベッド購入の補正額が計上されたのは、障がい者や健常者にとっても大変良いこと。避難所の環境向上に努力していたいただきたい。

答 今後は早期整備に向け関係各課と協議し鋭意進めてまいります。

●指定管理の取り消し・土地建物の処分・ゴミ屋敷問題

自民・創生

安部 一郎 議員



問 指定管理取り消しはとても重要な案件だ。当該法人が不正によって得た利益は全額返金されるものと理解している。市民の皆様

怒りも相当なものである。その後、どのようなになったのか。

答 返還していただく金額は、総額3100万円程度になると思います。そのうち虚偽の報告と正しい決算額との差額であった約2400万円については、損害金として納めてもらい、残額の剰余金、約700万円は寄附金としていただくようになっております。

問 丁寧な行政運営を求めているが、土地・建物を処分する場合、もつと関係課で横の連絡をとって、協議をした上で、売却の可否を決めるべきでは。

答 土地や建物の売却については、市民の方に疑念を持たれないように、透明性・公平性を担保できるようにしようという形で今後を進めていきたいと思っております。そのために、各部署で総合的に判断できるように協議の場を設けながら連携を深め、また他都市の状況

も研究しながら取り組みたいと思っております。

問 ゴミ屋敷問題への対応は。

答 防災、減災の観点からも、高齢者福祉課において実施している「生活改善援助員派遣事業」なども活用し、関係各課と連携、情報共有しながら、早期解決に向け取り組んでまいりたいと考えています。

●舟券売場設置

自民・創生

松川 峰生 議員



問 大村市が、本市と隣接する由布市に場外舟券売場の設置を予定しているが、別府市への影響は計り知れない。例えば交通アクセスや環境保全、交通安全等に影響を及ぼす可能性があり、災害や事故等が起きれば別府市が対応しなければならぬ。特に児童・生徒

の健全育成の観点からも、新たなギャンブル施設の設置による環境の変化から、次世代を担う子どもたちの教育にさまざまな影響を与えることが心配されるが、別府市の対応について伺いたい。

答 現在までに、大分県から設置業者に対し場外舟券売場の開発許可等は出ていないと聞いていますが、仮に設置された場合は、市民生活に様々な支障を来す環境問題が生じる恐れがあることから、別府市としては、引き続き設置に反対の意思を明確に示してまいりたいと考えています。



問 浜脇地区の問題と捉えず、別府市全体の問題と捉えるべきだと思いが。

答 同じ自治体同士でありますので、由布市、大村市に本市の実情を理解していただけるよう努めてまいります。

●南部振興・都市計画道路の進捗状況

自民・創生

国実 久夫 議員



問 南部地区の都市計画道路（旧南小学校東側道路）の変更について、7月に都市計画審議会が開催され、都市計画道路の変更がなされたと思うが、その状況について伺いたい。

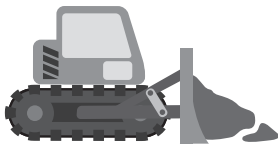
答 南部地区都市計画道路の変更につきましては、去る7月25日に別府市都市計画審議会を開催し、答申をいただいた後、8月8日付

けで都市計画変更の告示を行ったところで、ようやく実施に向けた法的な措置が終了しました。

問 都市計画が変更され、これから整備ということになると思うが、今後の予定はどうなっているのか。

答 今後につきましては、事業実施に向けて関係機関等と協議を行っていきたくと考えています。まずはしっかりとした計画を立て、事業着手に向け取り組んでいきたいと考えています。

秋葉通りの拡幅工事は20年かかったが、南部地区の拡幅は秋葉通りに比べて距離的に半分であり、10年後には完成できると思うが、10年は長すぎるので、せめて5年以内に完成することを要望する。



●観光都市としての環境美化対策

自民・創生

阿部 真一 議員



問 別府市は観光都市であり、市民にとって住みやすく、また観光客にとっても訪れやすい都市を目指していくように努めなければならぬ。その中で環境美化対策として、市は現状でどのような取り組みを行っているのか。

答 環境課といたしましては、本市が観光都市として観光客に美しいまちのイメージをもっていただくため、全市一斉清掃・海岸海浜清掃奉仕活動・ポイ捨て防止キャンペーンなどのイベントを通じ環境美化に繋げるための啓発活動を行っているところであります。

問 市内の幹線道路・河川・公園などの公共施設におい

て整備が行き届いていないと観光都市として大きなイメージダウンになるため、市民憲章にあるように全庁をあげた取り組みが必要ではないか。

答 本市は観光客の皆さまにも美しいまちとしてのイメージを持つていただくため、市の内部でそれぞれが担当している業務について環境美化対策の観点から横断的な取り組みを検討してまいりたいと考えています。

●第2回ONSENアカデミア

公明党

荒金 卓雄 議員



問 11月に開催する第2回アカデミアの具体的な内容は。

答 記念講演、分科会、温泉会議などを予定していま

す。鈴木大地スポーツ庁長官による講演等。分科会では、パラリンピック銅メダリストの中西麻耶選手などのトップアスリートが運動・温泉・食・検診を一体化した体験型プログラムを実施した報告を行います。また、アクティブシニア層の健康増進として、同様の体験をセットした4〜5日程度のモニターツアーを実施します。そして、全国の首長による温泉会議では、昨年度の「タトゥー問題」のその後の取り組みを討論します。

問 今後の方向性をどのように考えるか。

答 温泉に関する課題や先進的な取り組みについて、別府が常に日本のイニシアティブを取り、全国の温泉地と協働して、その実現を図っていきます。その過程の中で医療や健康増進・旅行や美容を商品事業化する事業発展の可能性を広げ、地域活性化の原動力・母体があるイメージストーリーを

考えています。

● 公有地の売却・民泊新法

新風べっぴん

野上 泰生 議員



問 公有地の売却について、その手続きを明確にするため、面会記録や協議録の作成、またその開示など透明性を確保するための仕組みやルールを作るべきでは。

答 公有財産の適切な有効活用を推進していくため、土地の売却等にあたっては、市民の目線に立ち、公正性・透明性を担保することが必要であると認識しています。既存の財産活用推進会議をベースに、所管部課長を含めたメンバーで総合的に判断できるように協議の場を設けながら連携を深めて、他都市の状況も踏まえ、またいろいろと研究も

しながら、できるだけ早期に一定のルール作りをしたとと考えております。

問 民泊新法下の民泊営業の火災対策や環境への配慮はどうなるのか。

答 消防としては旅館ホテルに準じる安全基準を求めます。環境課としては民泊からでるゴミは事業系ゴミとし、事業者が自らの責任において適正に処理することを求めます。

● 定員適正化計画・移住・定住施策

市民クラブ

加藤 信康 議員



問 定員適正化計画が進めば、市業務は非常勤・任期付・再任用職員に頼らざるを得ない。一般事務のアウトソーシングが困難とするなら、事務改善について、どう考えているのか。

答 窓口業務は非正規化が進んでおり、アウトソーシングの方が費用がかかることも考えられるため、費用対効果を見極め慎重に進めていきます。職員の負担を軽減するため、事務改善を早急に進めるための組織を作る方向で協議を進めています。今後は、人件費全体を見た人員管理を進めていきたいと考えています。

問 全国の地方自治体が移住政策に力を入れている。別府市は移住政策の必要性についてどう考えているか。

答 人口減少や少子高齢化により、経済・産業活動が縮小され、税収入は減少し、社会保障費は増加するなど、地方財政に大きな影響を及ぼすことが考えられます。自治会など地域コミュニティにも大きな影響を与えます。したがって、移住・定住政策にも積極的に取り組んでいきたいと思

● 亀川まちづくり事業

自民クラブ

河野 数則 議員



問 亀川消防出張所は現地建て替えになるが、市民課亀川出張所はどこに移転するのか。

答 庁内において横断的に協議を重ね、建て替え時期に合わせて早急に移転先を決定したいと思

問 亀川地区都市再生整備計画事業の進捗状況について、平成29年度までの計画だが、完成の予定を伺いたい。

答 進捗の遅れにより平成30年度中には整備したいと思

問 内竈堂面棚田は市街地から近く観光資源としても魅力的である。また、現在、

亀川小学校の児童が田植えや稲刈りに参加し、農作物を育て自然の恵みを感じ取る素晴らしい体験を行っているが、今後対象を少しずつ広げて行ってもらいたいと考えるがどうか。

答 今後は、この貴重な体験実習を近隣の小中学校に広げて行くべく、協議を重ねていきたいと思

平成29年 第4回定例会(予定)

12月6日 議案上程

11日 議案質疑、委員会付託

12日 委員会審査

13日 一般質問

19日 委員長報告、討論、表決

※日程は変更することがあります。

第4回定例会の請願の受理期限は、11月27日(月)17時です。

中学校4校で議会出前講座を開催

中学生が議会の仕組みについて学習しました。

生徒の感想（明豊中学校：8月3日実施）

- たくさんの人々が別府にいて、他の地域の人々に別府の良さをもっと広めるためにはどのような工夫が私たちにとって必要なのかを、この対話集会で私は今までで最も深く学ぶことができました。そして、これからの別府のためにも考えていきたいと思いました。
- 意見交換でも別府市政についてここは良い、ここはもう少し良くしたほうがよいと真剣に語り合えて、とても有意義な時間を過ごすことができました。



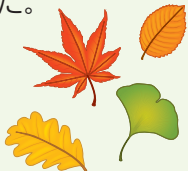
生徒の感想（青山中学校：8月9日実施）

- 思っていたよりアットホームな雰囲気が進められて楽しかった。楽しいだけじゃなくて、知らないことを知れたし、政治についても少し興味がわいて、自分のためになる会でした。
- 自分たちの住んでいる町の代表者である市議会議員さんたちとお話できて、本当によい経験をさせていただいたと思います。以前から別府の観光や少子高齢化の問題について興味を持っていたので、とても楽しかったです。



生徒の感想（中部中学校：8月17日実施）

- 今まで知らなかったこと、よく分からなかったことがたくさん知れてよかったと思います。10年後や30年後の別府はどうなっているか想像もつきませんが、ずっと別府に住んでいたいと思いました。
- 「温泉で観光客が集まるといのが近いうちになくなるかもしれない。」「新しい観光要素が必要なんだな。」と感じた。



生徒の感想（鶴見台中学校：8月10日実施）

- 受ける前はあまり興味がなかったのですが、教室に入った瞬間に温かい雰囲気が流れていて、緊張があまりなくなって、実際に話してみると楽しくて、自分の言いたいことがしっかりと伝えることができました。
- アットホームな環境ですごく話しやすかったです。これからの別府のまちづくりや人づくりに関心を持つことが一番大切なことだと思うので、今日をきっかけによりよいまちづくり人づくりをしていきたいです。



涼風が吹き抜ける好季節を迎え、市民の皆さまにおかれましては益々ご健勝のこととお慶び申しあげます。また、九州北部豪雨・台風18号等で被災された皆さまには衷心よりお見舞い申しあげるとともに別府市議会としても市民の安心安全を守るために全力を尽くす所存であります。今定例会では来年度当初予算に議会としての意見を反映させるため、決算認定審査を行いました。国の掲げる地方創生は今まで類似した地域活性化の取り組みも多く、残念ながら成功事例は少ないといっても過言ではありません。別府市が掲げる「まち」「ひと」「しごと」の地方創生事業を執行部と議会が良き両輪として切磋琢磨し、市民の皆さまにお示しするためにも、議会としての権能を發揮しなければなりません。

今後も皆さまとともに「誇れる別府市」を創造していくことをお誓い申し上げます。

広報広聴委員会委員

阿部 真一



編集後記